



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships
30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8264 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術協力活用型・
新興国市場開拓事業
(研修・専門家派遣事業)

2019年5月

募集要項

品質経営研修コース

The Program for Quality Management

[PQM]

2019年9月4日～9月17日

1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2016 年度（平成 28 年度）までに世界 171 カ国から延べ 186,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 199,000 人余りが参加しています。

品質経営研修コース（PQM）は、一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）が実施する管理研修コースです。本コースは、全開発途上国を対象として、日本企業に特徴的な経営・管理手法やその根底にある考え方を学ぶために設計された管理研修コースの一つで、上級管理者を対象に、品質経営を実践する能力を向上させることを目的としています。

2. 対象国：

対象国・地域一覧をご確認ください。

<http://www.aots.jp/jp/ikusei/files/taishokoku.pdf>

尚、中国については、本コースでは対象といたしません。

3. 参加者の人数：

24 名

4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 製品・サービスの品質向上に責任を持つ上級管理者
*中級管理者でも、TQM を実施するにあたり要となる立場にいるか、将来の役割を期待されている場合は対象となります。
- (2) 原則として、品質管理・品質経営の分野で 1 年以上の実務経験を有する方。年齢は 30 歳以上 50 歳以下が望ましい。
- (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
- (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
(高い英語能力が必要です。参加者選考の際には英語で討論する能力を特に重視します。)
- (5) 心身健康な方
- (6) 開発途上国または地域に居住の方
- (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
- (8) 過去に低炭素技術輸出促進人材育成事業及び技術協力活用型・新興国市場開拓事業（研修・専門家派遣事業）の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- (9) 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方。

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族を同伴することはできません。

- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、実地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日系企業や現地資本企業以外からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が低くなります。
- (5) AOTS の管理研修コースは、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関に所属する方は参加できません。
- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合は、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

（日本国内の法人を通じてのお申込みの場合）

AOTS のホームページ内の以下の案内をご参照の上、応募書類一式を **2019 年 7 月 1 日（月）**までに、AOTS 研修・派遣業務部（10．お問合せご参照）に到着するよう提出してください。

<http://www.aots.jp/jp/ikusei/management/proc01.html>

※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【日本語】 <http://www.aots.jp/jp/ikusei/training/doc01.html>

（海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合）

AOTS 海外事務所もしくは海外協力団体を通して、以下の応募書類一式を **2019 年 7 月 1 日（月）**までに AOTS 事業統括部に到着するよう提出してください。

応募書類の提出期限は、各団体によって異なりますので、AOTS 海外事務所もしくは AOTS 事業統括部（10．お問合せご参照）にお問合せください。

お申込者には AOTS 海外事務所もしくは海外協力団体による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (2) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (3) 顔写真（4×3cm）2 枚（裏面に名前を書いてください）
- (4) 勤務先概要を紹介する資料
- (5) パスポートコピー

※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。

- (6) 事前研修レポート
- (7) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式）
- (8) 研修生個人情報の取り扱いについて（AOTS 所定様式）
※この書類は、本人が署名の上ご提出ください。内容に同意いただけない場合、または未提出の場合、コースへの参加が認められません。
- (9) 管理研修の研修効果について（AOTS 所定様式）
※この書類は、質問形式となっております。原則として本人の勤務先の代表者の方がご記入ください。（本募集要項の最後にこの様式があります。）
- (10) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用）

注意：

※ソフトコピーでの書類は受け付けません。

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※上記 AOTS 所定様式は AOTS ホームページからダウンロードできます。

【英語】 <http://www.aots.jp/en/ikusei/application.html>

提出された応募書類は、2019年8月1日（木）の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTSより連絡いたします。

注：応募者が締切日時時点で20名に満たない場合、本コースを中止または延期します。

6. 研修コースの概要：

■ 目的

このコースは、製品の品質やサービスを向上させて顧客満足度を高めることを目指すTQM（総合的品質管理）に関して、その概念と手法、さらに推進方法をマスターすることによって、参加者が自組織内でTQMを実践、推進できる能力の向上を図ります。

■ 期待される効果

- (1) TQM活動の枠組み(歴史的背景を含めて)についての理解
- (2) 品質と管理についての基本理論の理解
- (3) 方針管理、日常管理、QCサークル、品質保証、品質改善を含むTQM活動の主要な要素についての知識と推進方法の理解
- (4) TQM実践成功企業の主要な成功要因の理解
- (5) TQM推進における管理者の役割と責任への新たな洞察

■ 期間

2019年9月4日（水）～9月17日（火）

■ 内容

このカリキュラムでは、次のステップに従って、TQMを推進する能力を効果的に強化します。

【ステップ 1】

日本で育ったTQM活動の枠組み・特徴、TQMの文化的側面について概観します。

【ステップ 2】

TQMの主要な要素である方針管理と日常管理、品質保証などについて学びます。講義だけではなく、実際に日本企業の具体的事例を見学することで、TQM導入から推進までの流れや、TQMの主要な要素をどのように現場で実践するかを理解を深めます。

【ステップ 3】

TQM推進における管理者のリーダーシップについて学び、TQMの人間的側面について話し合います。コースのまとめとして、帰国後のアクションプランと自分自身の役割について発表します。

ステップ1～3と並行して、参加者はコース開始前に提出する事前課題レポートに基づき参加者同士でグループ・ディスカッションを行い、講師から助言を受けます。グループ・ディスカッション後、参加者は講義や企業訪問等を通じて学んだTQMの導入と推進に関する管理手法や取り組み事例を参考に事前課題レポートを修正し、自社に適応する行動計画草案を作成します。参加者は可能な限り実践的で、具体的かつ詳細な計画を立案し、コース最終日に発表します。

注：行動計画草案をより効果的で現実的なものとするため、自社の品質管理あるいは品質保証上の問題に関する具体的な情報とそれの説明のためのデータ等の資料をお持ちください。

コースは通常午前3時間、午後3時間の講義からなり、夕食前にグループ討論が行われます。日程表（予定）をご覧ください。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

■ コースディレクター

狩野 紀昭 博士

東京理科大学 名誉教授

アジア・クオリティ・ネットワーク (ANQ) 名誉会長

デミング賞本賞選考委員会委員長

(財) 日本科学技術連盟 (JUSE) 理事

日本品質管理学会 名誉会員

国際品質アカデミー (IAQ) 名誉会員

アメリカ品質学会 (ASQ) 名誉会員

中国品質協会 (CAQ) 外籍顧問

インド品質学会 (ISQ) Principal Counselor

Hamdan Bin Mohammed e-大学, ドバイ, Honorary Advisory Board Member

フィリピン品質学会 (PSQ), シンガポール品質学会 (SQI), パキスタン品質生産性学会 (QPSP)、

ベトナム (ホーチミン) 品質協会 (VQAH)、インド品質学会 (ISQ), チリ品質学会 (ASCAL)、

アルゼンチン品質基盤 (FUNDECE)、およびフィンランド品質学会 (FSQ) 名誉会員

デミング賞実施賞小委員会 委員 (1978年～2010年)、同委員長 (2004年～2007年)

(社) 日本品質管理学会 (JSQC) 会長 (2000年～2002年)、

積水化学監査役 (2003年～2009年)

(株) 小松製作所 取締役 (2008～2014)

中原大学 (台湾) 講座教授 (2006年～2012年)

(一財) 海外産業人材育成協会 (AOTS) 理事 (2007年～2012年)

TQM 研究の世界的権威。長年にわたり TQM の研究に携わり、“House of TQM”、『魅力的品質と当たり前品質』(Kano Model) 等、300 編を超える著書・論文がある。特に、Kano Model の提唱者として世界的に知られている。1997 年にデミング賞本賞を受賞したほか、1997 年に American Statistical Association Deming Lecturer を、アメリカ品質学会 (ASQ) からは 2002 年に E. Jack Lancaster Medal を、2006 年に E. L. Grant Medal を、2009 年に Distinguished Service Medal を、2008 年には Indian Society for Quality (ISQ) から Dronacharya Award を、2014 年にはアジア太平洋品質組織 (APQO) より Feigenbaum Medal を、さらに、2016 年には、ヨーロッパ品質機構 (EOQ) によって欧州品質管理界では最高の賞とされる Georges Borel Award 賞を受賞した。また、2009 年には泰国技術振興協会 (タイ) によって TQM を推進し優良経営で成果を挙げた企業に授与される Kano Quality Award (狩野品質賞) が、さらに、2010 年にはアジア・クオリティ・ネットワーク (ANQ) によってアジアにおける品質の発展に貢献した個人に授与される賞として、石川馨教授と共に狩野博士の名前を冠した Ishikawa-Kano Award が創設された。

安藤 之裕 氏

TQM コンサルタント

デミング賞委員会 主査委員

国際品質アカデミー (IAQ) アカデミシャン

(一社) 日本品質管理学会 理事

QC サークル 埼玉地区 名誉世話人

ISO/TC176 国内対応委員会委員

TQM コンサルタントとして、製造業からサービス産業まで広範な業種にわたり、国内外の多数の企業において活躍。このうち 25 社がデミング賞実施賞受賞。TQM 関連の著書 (共著・監修) 多数。87 年、97 年日経品質管理文献賞受賞。(財) 日本科学技術連盟をはじめ各組織主催の品質管理セミナーの講師を務め、実践的で楽しく教える講師として定評がある。TQM 関連の著書 (共著・監修) 多数。1987 年及び 1997 年に日経品質管理文献賞を受賞。また、2010 年には (社) 日本品質管理学会から品質管理推進功労賞を受賞。2010 年に出版した自著 “Daily Management - The TQM way” は、国際品質アカデミー (IAQ) の 2011 年 Masing Medal を受賞した。

■ 研修場所と宿泊施設 (予定)

AOTS 東京研修センター (TKC) <http://www.aots.jp/jp/center/about/tkc.html>

120-8534 東京都足立区千住東 1 丁目 30-1

電話： 03-3888-8231 (受付)、ファックス： 03-3888-0763

7. 経費：

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

【試算例 1】中堅・中小企業の場合

9/3来日・9/4～9/17研修コース参加・9/18帰国 (日本円)

| 研修費用 | 総額 | 補助額 | 分担金 |
|--------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. 受入費 | <u>151,030</u> | 100,686 [2/3] | 50,344 [1/3] |
| 2. 研修実施費 | <u>408,000</u> | 248,000 | 160,000 |
| 3. 国内移動費 (成田 空港 - 東京研修センター) | <u>5,260</u> | 5,260 | |
| 合計 | <u><u>564,290</u></u> | <u><u>353,946</u></u> | <u><u>210,344</u></u> |

【試算例 2】一般企業の場合

9/3来日・9/4～9/17研修コース参加・9/18帰国 (日本円)

| 研修費用 | 総額 | 補助額 | 分担金 |
|--------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. 受入費 | <u>151,030</u> | 50,343 [1/3] | 100,687 [2/3] |
| 2. 研修実施費 | <u>408,000</u> | 204,000 | 204,000 |
| 3. 国内移動費 (成田 空港 - 東京研修センター) | <u>5,260</u> | 5,260 | |
| 合計 | <u><u>564,290</u></u> | <u><u>259,603</u></u> | <u><u>304,687</u></u> |

【試算例 3】一般企業（アフリカからの受入）の場合

9/3来日・9/4～9/17研修コース参加・9/18帰国 (日本円)

| 研修費用 | 総額 | 補助額 | 分担金 |
|--------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. 受入費 | <u>151,030</u> | 75,515 [1/2] | 75,515 [1/2] |
| 2. 研修実施費 | <u>408,000</u> | 218,000 | 190,000 |
| 3. 国内移動費 (成田 空港 - 東京研修センター) | <u>5,260</u> | 5,260 | |
| 合計 | <u><u>564,290</u></u> | <u><u>298,775</u></u> | <u><u>265,515</u></u> |

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。

※渡航費は補助対象外となります。

※別途、運営賛助金のお支払いについてご相談させていただきます。

※研修コース参加後に実地研修をご希望の場合、経費については、AOTS研修・派遣業務部 研修業務グループ（10．お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金 10 億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。

◎受入費基準額一覧

| | | |
|--------------------|-------|------------|
| AOTS 研修センター 宿舎費・食費 | 来日日のみ | 8,030 円/泊 |
| | 来日日以外 | 8,850 円/泊 |
| 研修旅行時 | 宿舎費 | 10,080 円/泊 |
| | 食費 | 2,570 円/泊 |
| 雑費 | | 1,020 円/泊 |

<海外の法人からお申し込みの場合>

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。
(<http://www.aots.jp/jp/ikusei/management/files/19pqm-e.pdf>)

8. 査証 (V I S A) の取得について :

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

AOTS 研修参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって在外日本国大使館/総領事館 (以下「在外公館」とする) にて「研修」査証の申請をし、査証を取得していただきます。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合がありますので時間に余裕をもって申請願います。

(3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「APEC・ビジネス・トラベルカード (A B T C)」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致しているかについて、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

9. 個人情報の取扱いについて :

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

(1) 個人情報の管理者： 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長

連絡先： 総務企画部 総務グループ

電話： 03-3888-8211 E-mail: kojinjoho-cj@aots.jp

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、研修生受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。それ以外の利用目的又は法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

10. お問い合わせ：

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内の法人を通じてのお申込の場合

研修・派遣業務部 研修業務グループ

住所 〒104-0061 東京都中央区銀座 5-12-5 白鶴ビル 4階

電話：03-3549-3051 Fax：03-3549-3055 E-mail: g-ukeire-ak@aots.jp

海外の法人から直接のお申込の場合

事業統括部 海外協力グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東 1丁目 30-1

電話：03-3888-8256 E-mail: shouhei-au@aots.jp

海外事務所

バンコク事務所 (Bangkok Office)

次長 戸田 英信

住所：Nantawan Building 16F, 161 Rajadamri Road, Pathumwan, Bangkok 10330

電話：66-2-255-2370 Fax：66-2-255-2372 E-mail: information@aots.or.th

ジャカルタ事務所 (Jakarta Office)

所長 田中 勇人

住所：3A Floor, Graha Mandiri, Jl. Imam Bonjol No. 61, Jakarta 10310

電話：62-21-230-1820～1 Fax：62-21-230-1831 E-mail: information@aots.or.id

ニューデリー事務所 (New Delhi Office)

所長 神田 久史

住所：Office Unit 12A, Rectangle One, D-4 Saket District Center,
New Delhi, 110017

電話：91-11-4105-4504 E-mail: info@aots.org.in

ヤンゴン事務所 (Yangon Office)

所長 江口 健一郎

住所：Room Unit 401, Yuzana Hotel 4th Floor, 130 Shwe Gon Taing Road, Bahan Township, Yangon

電話：95-1-8604922 E-mail: info@aots.org.mm

※各国の海外協力団体についての情報は事業統括部海外協力グループにお問合せください。

品質経営研修コース [PQM] 日程

2019年9月4日～9月17日

AOTS 東京研修センター (予定)

| 月/日 | 午 前 | 午 後 | 夕 方 | |
|-------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------|---|
| 9月3日 (火) | (来日) | | | |
| 4日 (水) | オリエンテーション/開講式 | 講義：TQMの中核(1) 品質保証の考え方 | 講義：TQMの中核(2) 品質保証の進め方 | 討論・発表： グループ・ディスカッションガイダンス、グループ・ディスカッション(1) |
| 5日 (木) | 講義：TQM概論(1) -改善論- | | 講義：TQM概論(2) -管理論- | 討論・発表： グループ・ディスカッション(2) |
| 6日 (金) | 講義：TQM Vehicles(1) -QCサークル活動- | 企業見学：QCサークル活動事例 | | |
| 7日 (土) | 休日 | | | |
| 8日 (日) | 休日 | | | |
| 9日 (月) | 講義：TQM Vehicles(2) -日常管理- | 講義：TQM Vehicles(3) -方針管理- | | |
| 10日 (火) | 講義：TQM概論(3) -品質理論- | 講義：TQM概論(4) -Overview of TQM- | | |
| 11日 (水) | (遠隔地) 企業等 見学 | 企業見学：品質保証事例 | | |
| 12日 (木) | | 企業見学：TQM推進事例 | 企業見学：TQM推進事例 | (移動) |
| 13日 (金) | 講義：TQMの進め方 | 最終レポート発表準備 | | |
| 14日 (土) | 休日 | | | |
| 15日 (日) | 休日 | | | |
| 16日 (月) | 企業見学：TQM推進事例 | | | |
| 17日 (火) | 最終レポート発表 | 最終レポート発表/研修総括 | | 修了式 |
| 18日 (水) | (帰国) | | | |

注意：

- (1) 上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
- (2) 夕食後グループ討論を行うことがあります。
- (3) 日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

PRE-TRAINING REPORT
- The Program for Quality Management [PQM] -

Please fill in the following items **by using a personal computer or similar equipment** in English. **Handwriting should be avoided.**

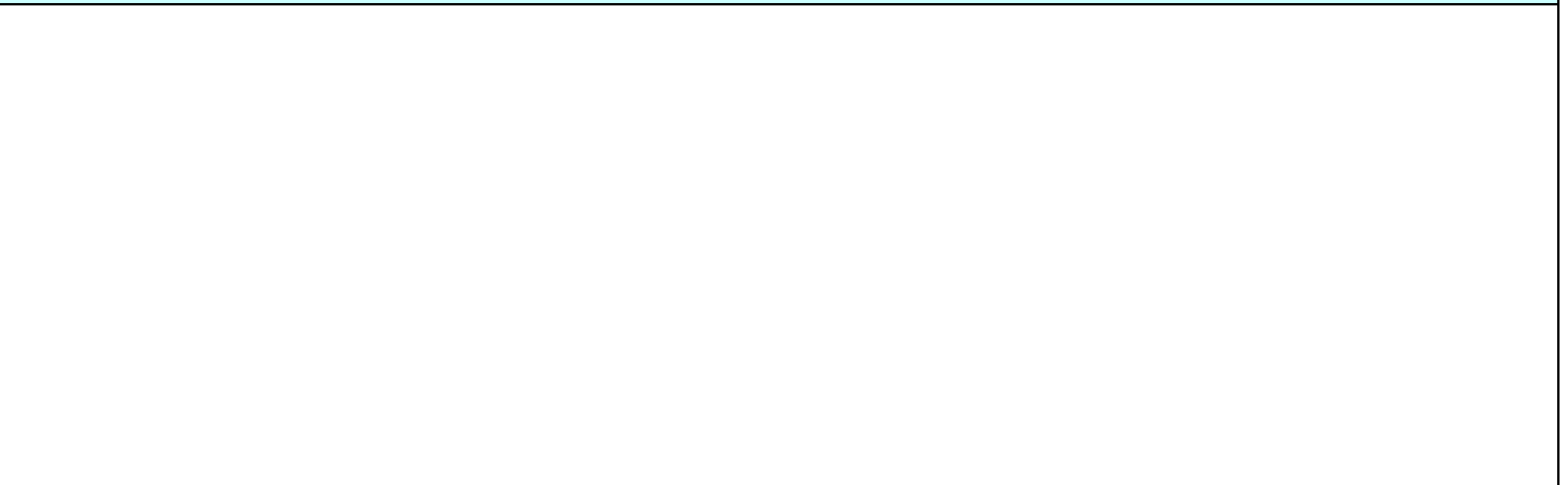
The report form is available here in an MS-Word format. (<http://www.aots.jp/jp/ikusei/management/files/19pqm-e.docx>)

The Pre-Training Report will be used as a reference material in the screening process of applicants.

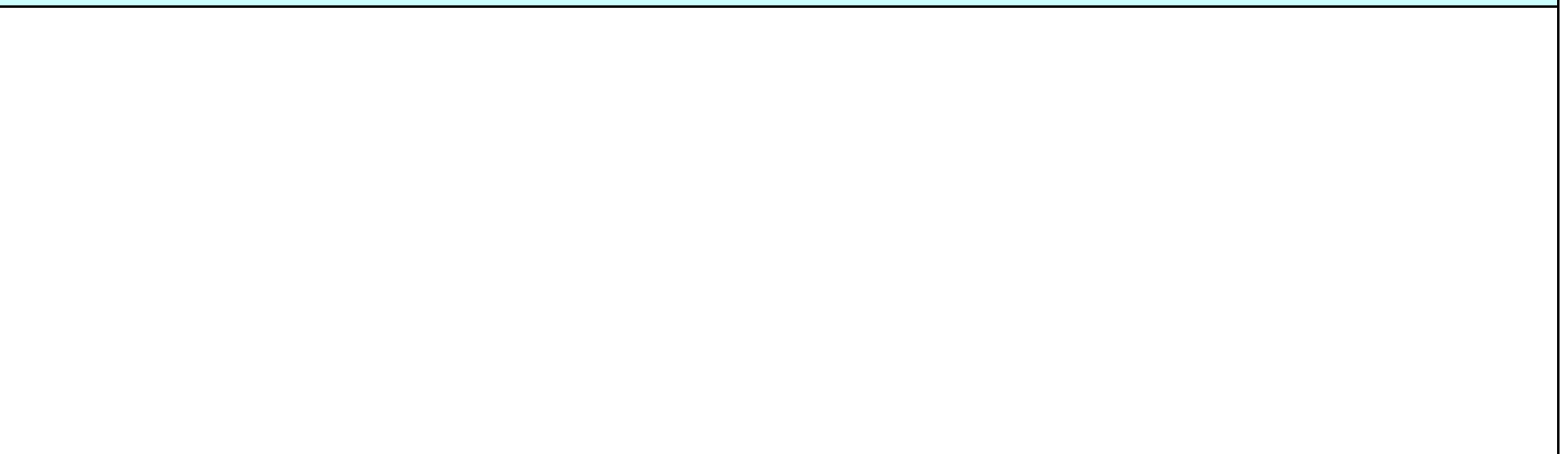
Note: Applicants who pass the screening will be required to submit 'Pre-Work' which is similar to the Pre-Training Report, but asks more detailed information.

| | | | |
|---|--|---------------------------------|--|
| 1. Your Name | | | |
| 2. Country | | | |
| 3-1. Name of Your Organization | | | |
| 3-2. Year of Establishment | | 3-3. Number of Employees | |
| 3-4. Annual Sales | | | |
| 3-5. Your Products and Services (Including Major Customers or Markets) | | | |
| | | | |
| 4-1. Your Position | | | |
| 4-2. Number of Subordinates | | | |
| 4-3. Your Responsibility / Division You Are Responsible For | | | |
| | | | |

4-4. Organization Chart (Add ** to Highlight Your Position)



4-5. Production or Business Process (Add ** to Highlight the Process that You Are Involved In)



5. Present Managerial Activities for Quality Improvement in Your Organization**6. Your Current “Challenge”* in Your Quality Management Activities, Indicating their Causes from Your Viewpoint**

*** 6-1. “Challenge” means a problem that needs to be solved or task that needs to be achieved within 1-2 years from now.**

e.g. Problem that needs to be solved:

- (A) Too many complaints from customers
- (B) Too high rates of rejections, reworks, mistakes in the process
- (C) Too big variations and/or instability of process parameters or key performance indicators (length, weight, PH, dB, etc.)
- (D) Too low success rate of new product/technology development

e.g. Task that needs to be achieved:

- (E) New business and/or market development
- (F) Accelerated business expansion
- (G) Introduction and/or enhancement of QC Circle activities

6-2. List of any supporting information and data related to your current “Challenge” that you will bring to this course.

| 7. The Stage of TQM Promotion in Your Organization | |
|---|---|
| Please Check (x) as Appropriate. | The Stage of TQM Promotion |
| | 1. Planning to Introduce TQM |
| | 2. Under Preparation to Introduce TQM |
| | 3. Within 2 Years After the Introduction of TQM |
| | 4. More than 2 Years After the Introduction of TQM |
| | 5. Before Planning of the Introduction of TQM, or No Plan |
| <p>If you check 1, 2, 3 or 4, please answer the following question: What is the particular objective of the adoption of TQM?</p> | |

Question 3:

(For a representative)

If you have ticked “Yes, I am” in the above Question 2, please answer the following question. When you use what is learned from the AOTS training in your company, how many managers and workers would receive the benefits of this during the year after the training? Please provide your rough estimate below.

About _____ people

Question 4:

If you have ticked “Yes, I am” in the above Question 2, please answer the following question. When you use what is learned from the AOTS training, what benefits do you expect? Tick the following statement that applies to you (multiple answers allowed).

- A reduced load to the environment and energy saving will be realized.
- Technology development and product design and development will be possible in the home country.
- Production capacity will expand. [About _____] %
- Productivity will increase. [About _____] %
- Product and service quality will improve. [About _____] %
- Costs will be reduced. [About _____] %
- Market will be extended.
- Others [_____]

Question 5:

Please provide the sales amounts of your company.

Actual sales for the last fiscal year [_____] USD * 1 USD = 112 JPY

Estimated sales for this fiscal year [_____] USD * 1 USD = 112 JPY

Question 6:

The AOTS training program costs about 6,000 USD per person to run the course. Do you think the AOTS training programs produce enough benefits to justify the expense (6,000 USD)? Tick the following statement that applies to you.

- Yes
- No

Question 7:

The following question is relevant to the above Question 6. Supposing that the expense (6,000 USD) is defined as “1”, describe the benefits obtained from the AOTS training program in numerical value. Roughly assess the benefits for the next five years after the training. Tick the following statement that applies to you. A very rough estimate is fine. Your response is highly appreciated.

- Below 1.0 => Provide a specific value [_____]
- 1.0 or above and below 1.5
- 1.5 or above and below 2.0
- 2.0 or above and below 2.5
- 2.5 or above and below 3.0
- 3.0 or above => Provide a specific value [_____]

End of document